

理学図書館ミニ展示

「大震災と地震学 ー関東大震災100年ー」

第Ⅱ期（関東大震災・現代の地震学） 展示資料リスト

I. 関東大震災



1923(大正12)年 9月1日 午前11時58分32秒に発生。M7.9、震源地は相模湾の北西部と推定された。

この地震をきっかけに、1925年に震災予防調査会を引き継いで帝国大学附属地震研究所が設置された。

展示資料	
I - ① 『地球』第1巻（1924年）	
<ul style="list-style-type: none">● 小川琢治「関東地震研究・深発地震の本性（上）」（第3号、p. 1-33 /p. 199-231）● 小川琢治「関東地震研究・深発地震の本性（下）」（第4・5号、p. 1-36 /p. 287-322）	
I - ② 『震災豫防調査會報告』第100号 乙（1925年）	
<ul style="list-style-type: none">● 加藤武夫「大正十二年九月一日関東大地震ノ地質學的考察」（p. 1-9）● 山崎直方「関東地震ノ地形學的考察」（p. 11-54）● 寺田寅彦「相模湾海底變化ノ意義並ニ大地震ノ原因ニ關スル地球物理學的考察」（p. 63-72）	
I - ③ 『震災豫防調査會報告』第100号 戊（1925年）	
<ul style="list-style-type: none">● 寺田寅彦「大正十二年九月一日二日ノ旋風ニ就テ」（p. 185-227）	防災専門図書館でデジタル画像を公開しています！
I - ④ 『地震』第1巻（1929年）	
<ul style="list-style-type: none">● 今村明恒「関東並に近畿地方に於ける地震活動の循環と大震前の諸現象とに就いて」（第1号、p. 4-16）	 電子ジャーナルで読めます！
<ul style="list-style-type: none">● 今村明恒「明治大正年間に於ける本邦地震學の發達」（第2号、p. 10-41）	 電子ジャーナルで読めます！
<ul style="list-style-type: none">● 今村明恒「大正十二年関東大地震震原の多元性と此地震に關聯せる斷層系との關係について」（第11号、p. 1-10）	 電子ジャーナルで読めます！
I - ⑤ 今村明恒 著『地震波による地球内部の打診』，岩波講座地質學及び古生物學，礦物學及び岩石學，地理學，岩波書店（1933年）	
I - ⑥ Akitune Imamura 『Theoretical and applied seismology』 Maruzen Co.（1937年）	
I - ⑦ 『地震. 2輯』第20巻（1967年）	
<ul style="list-style-type: none">● 記念特集号編集委員会「特集号 日本の地震學の概観」（第4号、p. 1-326）	 電子ジャーナルで読めます！

II. 現代の地震学

1960年代にはプレートテクトニクス理論が出現し、1990年代には地球物理学の視点から地震研究が行われるようになっていた。阪神・淡路大震災が1995（平成7）年1月17日 午前5時46分に発生。M7.3、震源の深さは16km、震源地は淡路島北部であった。この地震をきっかけに、1995年7月18日に地震に関する調査研究の成果を社会に伝え、政府として一元的に推進するための地震調査研究推進本部が設立された。

展示資料	
II-①	『月刊地球. 号外』 No.13号（1995年） ● 「1995年兵庫県南部地震-近代都市直下に起こった大地震の報告」（p. 5-265）
II-②	日本地形学連合編『兵庫県南部地震と地形災害』 古今書院（1996年）
II-③	菊地正幸編『地殻ダイナミクスと地震発生』 地球科学の新展開 / 東京大学地震研究所編集 ; 2, 朝倉書店（2002年）
II-④	『地震. 2輯』第65巻（2012年） ● 水藤尚・西村卓也・小林知勝・小沢慎三郎・飛田幹男・今給明黎哲郎 「2011年（平成23年）東北地方太平洋沖地震に伴う地震時および地震後の地殻変動と断層モデル」（第1号、p. 95-121）  電子ジャーナルで読めます！
II-⑤	浅野憲周ほか『3.11の想定外のM9以降、見直しを迫られる地震研究の最前線：徹底検証!南海トラフ地震と首都直下地震』 ニュートン別冊, NEWTONムック, ニュートンプレス（2016年）
II-⑥	大中康譽, 松浦充宏著『地震発生の物理学』, 東京大学出版会（2022年）  電子ブックで読めます！ [学内者限定]

写真展示	
<p>関東大震災による東京帝国大学などの被害状況（写真:13枚） 写真提供：東京都慰霊堂</p> <p>当夜の火焰、中央气象台、丸善、東京帝国大学附属伝染病研究所、東京帝国大学地震学教室、 東京帝国大学薬学教室実験室内部状況、東京帝国大学の被害、東京帝国大学図書館、 東京帝国大学図書館閲覧室内部焼跡、東京帝国大学八角堂、東京帝国大学工学部、 学生の救援活動、東京帝国大学附属図書館</p>	

【参考文献】

- 文部省 編『学術用語集 地震学編』, 日本学術振興会文部省, 1974年
 金凡性 著『明治・大正の日本の地震学: 「ローカル・サイエンス」を超えて』, 東京大学出版会, 2007年
 泊次郎 著『日本の地震予知研究130年史: 明治期から東日本大震災まで』, 東京大学出版会, 2015年
 太平洋戦争研究会 編『図説関東大震災』, ふくろうの本, 河出書房新社, 2003年
 北原糸子 編『関東大震災: 写真集』, 吉川弘文館, 2010年